

「特集」

絵本のある子育て



絵

本と聞くと皆さんは何を思い浮かべますか？少し、昔のことを思い出してみてください。寝る前の枕元で、あるいはお父さんやお母さんの膝の上で、絵本を読み聞かせてもらった懐かしい記憶が蘇る人もいると思います。

少し成長して自分で本が読めるようになると、本の主人公に自分を重ねてみたり、心躍る冒険の話に夢中になったりしたのではないのでしょうか。

乳幼少期から、親子のふれあいの中で本に親しむという経験は、子どもの人格をつくる上で大切な基礎となります。そのかけがえのない経験は、言葉を紡ぐための糧となり、物事を考えるための軸となります。そして、人生を歩む道標となつて、きっと、その子の中に息づいていくはずです。

今回の特集では、絵本の魅力や、乳幼児期からの読み聞かせがもたらすさまざまな効果に触れながら、市立図書館が中心となつて実施している市の事業を紹介していきます。